

《市民との意見交換会 H30.1.29 (月) 18:30～19:45 田沢湖開発センター》

【参加者】 市民参加者 5 名。

議員参加者 荒木田、黒沢、熊谷、小林、稲田、伊藤、真崎、八柳、大石、平岡、田口、門脇、佐藤、記録者 高橋 14 名

【副議長挨拶～各議員自己紹介～子育て支援策報告（田口）～意見交換】

【子育て支援について】

- 1 子育て支援の冊子には、教育について、盛り込まれていない。教育は、全ての根幹であるのだから、しっかり盛り込んで欲しい。
- 2 角館には「はっぴいママ」など、サークルがあるが、他の地域にも、このようなサークルがあれば良い。

【その他の意見等】

- 1 今の市政は、困りごと相談所になっている。市議会、県議会、国会議員が現場に出て、地域づくりに関して、現場から政策を出すべきだ。
- 2 農業は、団地化が必要。また、農地を持っていなくても、農業ができるような制度も考えるべきだ。
- 3 旧角館東用学校や旧角館病院跡地について、明確な活用案を出すべきだ。
- 4 観光協会の事務所として、スタシオンは相応しくないのではないか。
- 5 水の問題は重要である。中川や八割、神代の一部などへの対応を求める。

【議員からの答弁】

- 1 教育について盛り込まれていないことは受け止める。今後議論する。
- 2 ふるさと教育でも足りない部分がある、と認識している。
- 3 子育てサークルの充実については、認定こども園の制度も活用し、今後増やしていけるように議論を進めたい。
- 4 旧病院や旧角館東用学校を始めとした公共施設の課題については、議会も同認識。無駄な経費がかからないよう、今後議論を進める。
- 5 観光協会の事務所の件は、協会側の意向である。
- 6 地域づくりについては、いつも考えている。昔は農家の人が結婚し、子供が生まれ、そこに地域の文化歴史、お祭りなどを守って地域をつくってきた。今、何が欠けているかとすれば、結婚する人がいないこと。昔は、仲人的な人がお世話をしたが、今は、皆無に等しい。結婚すれば、子供もできると思うし、参加者の方々にも、協力してもらいたい。

《市民との意見交換会 H30.1.30(火) 18:30～20:50 角館樺細工伝承館》

【参加者】 市民参加者 6名。

議員参加者 青柳、荒木田、熊谷、八柳、門脇、平岡、阿部、佐藤、小林、真崎、
稲田、田口、伊藤、大石、記録者 高橋 15名

【議長挨拶～各議員自己紹介～子育て支援策報告（田口）～意見交換】

【子育て支援について】

- 1 待機児童の心配がある。確実に保育所が使えるようにしないと、今後は心配である。
- 2 兄弟で、別々の保育園を利用せざるを得ない人もいる。何とかして欲しい。
- 3 支援学校の放課が、14時なので、その後の受け皿を考えて欲しい。大仙市や秋田市では色々ある。
- 4 学校給食は、今の金額で良いと思う。また、お狩場焼き給食などは、大変好評で、このように地元のメニューや季節のメニューを充実させて欲しい。
- 5 給食費の滞納が多くて、給食が廃止になったら困る。
- 6 はっぴい맘を利用したが、大変、対応が良く感謝している。3万円程かかったが、保育所に入れなくても、むしろこちらを利用して良かった。
- 7 子供達の学力テストの時にだけ、ひたすら過去問を解く。そうではなくて日々の積み重ねが大事ではないのか。これにより、大学進学などへ繋がると思う。
- 8 進学などで一定期間地域を離れても、戻ってこられるような環境をつかって欲しい。

【その他の意見等】

- 1 以前、子宮頸がんワクチンの助成の件について、危険性を指摘したところ、市では国が言っているのだから安全、としていたが、その後、全国で事故があり、問題となった。そのようなことのないよう、しっかりとチェックをして欲しい。
- 2 意見交換会の参加者が少ないので、もっと周知して欲しい。
- 3 若者の座談会などにも来て欲しい。
- 4 いつもお金がない、という理由で、事業ができず、諦めムードになっている。財源を生み出す工夫をして欲しい。
- 5 市民オンブズマン制度などを活用して、市政のチェックをしてはどうか。
- 6 財政が心配だ。実質公債費比率も厳しいのではないか。これに加え、病院の償還や庁舎建設が加わった場合、大丈夫なのか。
- 7 市の入札落札率が98%と高過ぎるのではないか。
- 8 伝承館の屋根工事は、なぜこの時期に行っているのか。
- 9 公用車の数が、多過ぎるのではないか。
- 10 18人の議員は、多過ぎるのではないのか。9人ずつ、半期交代などではできないのか。
- 11 市に質問状を出したが、回答が半年後だった。催促してから来た。遅過ぎる。若い職員が役に立たない。

- 12 角館地区の流雪溝は、利用料が 2,000 円から 3,500 円になって、時間が 25 分間と減った。料金が上がって時間が減るのは、おかしいのではないか。
- 13 流雪溝の利用は、高齢になると厳しい。料金を見直し、助成制度なども設けるべきではないのか。
- 14 職員の再任用はやめて、そういう方々には起業してもらい、逆に、若い職員を採用するべきではないのか。
- 15 職員が昼食のために、外出に出るのは良いが、家で食べるのはおかしい。
- 16 入札結果は、ホームページだけではなく、見られない人もいるのだから、広報にも載せるべきではないのか。
- 17 市の広報には良いことばかり載せて、悪いことは載せていない。
- 18 福祉弁当を、非課税世帯のみではなく、課税世帯にも配布するべきだ。
- 19 健康診断料金を課税、非課税で区別せずに、一律にするべきだ。健診の際に、無料の人は、非課税世帯と分るのではないのか。

【議員からの答弁】

- 1 意見交換会については、これまでの議会だよりを基にした報告から、テーマを絞って、行ことを試みている。周知方法にも課題があるが、参加者が増えるように頑張りたい。また、要望があれば、議会側から各種会合へ出向く方法も検討している。
- 2 ゼロ歳児保育は、年度当初に待機がなくても、年度途中に発生してしまう場合もある。施設の改修や保育士確保が課題。兄弟姉妹で、同じ施設への入所が可能となるように、今後議論する。
- 3 議会のこれまでの議論から、待機児童対策として、保育士の待遇改善や施設整備などの課題解決に向けて、社会福祉法人化を提案し、現在、進めている。また、子育てボランティア団体等を利用した際の助成制度なども出来上がった。
- 4 養護学校等の対応については、長い間取り組んできて、現在の姿となっている。今後も利便性向上のため、議論、提案していく。
- 5 給食のメニュー充実について、地場産品を出来るだけ使えるよう議論している。給食費滞納についても、解決策について強力に進めるよう求めている。
- 6 実質公債費比率は改善されてはいるが、角館病院の償還により 0.5 ポイント上昇はする。また、市税等の徴収率が、非常に低いことも課題であり、徴収体制の強化について、強く求めている。
- 7 伝承館の屋根の補修が、今になっているのは、観光客にも配慮してのことである。
- 8 流雪溝の利用料金については、流雪溝組合との協議もある。
- 9 職員の再任用については、年金受給の観点からも制度化されており、希望する職員は、再任用しなければならないことになっている。若い職員の採用については、大いに賛同する。今年から、社会人枠を設けるなど、改善が見られており、今後も進めるべきだ。
- 10 昼休みは休憩時間なので、家に帰ることや、外食をすることには、問題がない、と思う。
- 11 福祉弁当は課税、非課税に関わらず、一定要件のもと、一人暮らし世帯などにも配布されている。

- 12 健康診断は、国民健康保険の人は無料。非課税世帯が、判明しないような工夫は必要。

《市民との意見交換会 H30.1.31(水)18:30~20:13 西木開発センター》

【参加者】 市民参加者 5 名。

議員参加者 青柳、熊谷、小林、八柳、門脇、黒沢、平岡、大石、稲田、阿部、佐藤、田口、伊藤、記録者 高橋 14 名

【議長挨拶～各議員自己紹介～子育て支援策報告（田口）～意見交換】

【子育て支援について】

- 1 こうした意見交換会自体は良いが、子育てをテーマとするなら、母親にとって、参加しやすい時間帯や時期を設定してほしい。
- 2 予防接種への助成はありがたいが、逆に、かかってしまった際、保護者の仕事に支障が出たりするので、サポートしていただきたい。

【その他の意見等】

- 1 若者が政治に無関心であることが課題だ
- 2 議会の会議録なども、アップするに時間がかかり過ぎているのではないか。
- 3 若者が情報を得やすいように、SNS によって発信して欲しい。
- 4 議員と直接会話するのは敷居が高い、と感じてしまうので、議会の情報について、個々の議員が SNS 等で発信して欲しい。
- 5 企業誘致について、3 億円程度の費用を投じたが、ダメになった。議決した責任もある。今後はどうするのか。
- 6 クニマス未来館を、何故あの場所としたのか。採算性はあるのか疑問である。将来の荷物になるのではないか。
- 7 新庁舎建設については、二転三転した。結局どうなったのか。2 年も議論を続けた費用などは、どうなるのか。
- 8 クニマス未来館建設に伴い、田沢湖郷土史料館にある展示品を、今後、どうするのか？議会として、一致した見解はないのではないか。
- 9 クニマス未来館の設計に関する違算問題では、その設計書を受けた市にも問題がある。議会は指摘していないのではないか？
- 10 議会では、本会議より、全員協議会が多いのではないか。市長との談合だ。庁舎建設に関する会議録を見たが、将来計画や財政的な見通しの議論がされていない。
- 11 地域運営体は、二重行政ではないのか。
- 12 地域運営体は、住民要望に直ぐに応えられる組織になるように、見直すべきだ。
- 13 市議会改選の選挙で、立候補者の立会演説会はできないか。
- 14 教育委員会発行の「きたうら」について、白黒の印刷では、写真などが全く見えず、もったいない。なぜカラーにできないのか。または、別刷りではなく、市広報の記事として、掲載する方法もあると思う。
- 15 教育委員会は、市長の言いなりではないのか。教育委員会としての独自の考えを持つべきである。
- 16 市広報は、月 2 回ではなく 1 回にして内容を充実させた方が良いと思う。

【議員からの答弁】

- 1 意見交換会の開催時期と時間については、より多くの方々が、参加できるように検討したいと思う。
- 2 子供が、インフルエンザなどにかかった場合の保護者支援についてだが、会社員なら優先的に休暇を与えられるなどについて、どういった支援が可能か、市と議論したい。
- 3 SNS は、情報発信手段としては非常に良いと思う。今後、タブレットの導入も検討しているので、積極的に発信するよう努めたい。
- 4 企業誘致に関しては、市長の説明を聞き、直ぐにでも来るものだと、認識していたが、結局、破談になった。その後、市長は、新たに、1 部上場企業との交渉があるため、係争事案にはしない、とのことだったが、それも、今は、話をしなくなっている。
- 5 クニマス未来館の建設場所については、議会でも、色々と意見が出されたが、承認された。採算性は薄く 2 年目からは赤字になるのでは、と危惧している。
- 6 クニマス未来館の建設場所については、地元の団体からの要望もあった。採算については、人件費を含めると、赤字になりそうだが、クニマスそのものは、学術的価値のあるものであり、今後、研究を進める必要がある。県との共同事業でもあり、こうした役割も考慮し、認めた。
- 7 クニマス未来館の設計違算については、議会でも、問題視しており、現在は、市と企業が係争中である。
- 8 統合庁舎については、議会が設置した特別委員会で議論してきたが、特別委員会が出した結論を本会議で否決してしまった。合併特例債の期限も迫る中、結果として、分庁舎方式を継続することになった。その中で、現在の角館庁舎は、老朽化が著しく、建替えが必要なため、新築の方向で進めている。本庁舎は、田沢湖庁舎で変わらない。西木庁舎も田沢湖庁舎も、耐震補強や改築工事をするため、今後、数億円を見込んでいる。
- 9 田沢湖郷土史料館の展示品は、クニマス未来館に移設したもののほか、潟分校や田沢湖駅フォレイクに展示することになっている。
- 10 立ち合い演説会は、今後、検討させてもらおう。
- 11 教育委員会発行の「きたうら」については、カラーにするように、当局に話す。
- 12 地域運営体の在り方については、今後も、議会で議論して行く。